

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成 27 年 9 月 1 日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	平成 27 年 4 月 27 日廃止 ^{*1} 第 33 回定期検査中 ^{*2} 平成 23 年 1 月 26 日～未定
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第 18 回定期検査中 平成 23 年 8 月 29 日～未定 ^{*3}

（ ）内は定格電気出力

*1:平成 27 年 3 月 17 日に経済産業省へ廃止に係る届出を提出した。

*2:法律上、定期検査は廃止措置計画の認可を受けた日をもって終了とみなされる。

*3:福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況や新規規制基準の対応状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画する。

2. 故障等の状況について（平成 27 年 8 月 5 日～平成 27 年 9 月 1 日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所 3, 4号機 準備工事について（平成 27 年 9 月 1 日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化維持管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

(1) 敦賀発電所敷地内破砕帯の対応状況等について

① 原子力規制庁への意見書の提出及び原子力規制庁との面談について

平成27年7月8日の原子力規制庁との面談において、敦賀発電所敷地内破砕帯の評価に関する当社からの質問に対する回答を口頭で頂きました。

この回答について、7月8日の面談時に口頭で当社の意見を申し入れするとともに、7月13日の面談において当社の意見を文書で提出し、規制庁と議論を行いました。またその際、7月8日の面談でも申し入れた通り、当社としては引き続き有識者会合の審議及び評価書の問題について議論を続けていく考えである旨申し上げました。

(平成27年7月9日、7月13日発表済み)

7月13日の面談で議論になった点を再度議論するため、原子力規制庁に面談を申し入れましたが、時間の調整がつかなかったことから、8月7日に敦賀発電所敷地内破砕帯の評価に関する「当社の意見（補足）」を原子力規制庁に提出しました。

その後、8月19日の原子力規制庁との面談において「当社の意見（補足）」を説明し、「評価書」の取扱い等について議論を行いました。当社としては、原子力規制庁の説明は原子力規制委員会における審議等の経緯と整合性がとれていないと考えていることから、改めて意見を文書に取りまとめて提出することとします。また、有識者会合の「評価書」の内容や取扱いについて議論を行う場を設けて頂くよう改めて要請しました。

(平成27年8月7日、8月20日発表済み)

5. その他

(1) げんでんふれあいギャラリーの一時休止のご案内について

げんでんふれあいギャラリーの改修工事に伴い、ご利用を平成27年6月1日～平成27年9月27日の期間、一時休止しております。

なお、げん丸塾（調べ学習コーナー）については、休止期間中の土・日・祝日を除き、通常どおりご利用いただけます。